

「もの作り」収益改善セミナー

コストダウンリーダー 養成学校

第2回

3ヶ月集中突破!! …全4日間

コスト削減のプロにしてお返しします!

対象者

職種／製造、資材・外注、技術部門で働いている人
役職／主任、係長、課長、部長、工場長、中小企業の経営者

【講師】収益改善コンサルタント：西田順生(にしだ じゅんせい)

1977年神奈川大学工学部工業経営学科へ入学し、生産管理に魅了される。1981年同学科卒業。(株)村田製作所グループ及び(株)EIZOにて生産管理・外注管理・購買の実務を経験。多くの納期・品質・原価の改善実績を持つ。若干36歳で国家資格技術士(経営工学部門)に合格。1996年コンサルタントとして独立。

現在、「製造業のための」収益改善コンサルティング会社:株式会社 西田経営技術士事務所 代表取締役を務める。

2006年「収益改善プログラム(IPP)」を開発。多くの会社に導入され、年間数千円～数億円の利益アップの実績を上げている。

豊富な経験に裏打ちされた平易な説明には高い評価があり、主に首都圏、東海、近畿、九州地区の製造業に対して、経営指導を精力的に行っている。

【講師実績】

みずほ総合研究所……………14回
日本経営合理化協会……………20回
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)…28回
その他大手、官公庁……………20回
自社主催……………45回

【主著】

『値決め経営』日本経営合理化協会より『儲けの9割は「値決め」で決まる!』『5人分の仕事を3人で回す「ムダ時間」削減術』『買叩かれない会社の3つの戦略』『緊急!収益改善会議』以上中経出版より、『作る前にコストダウンする技術』、『粗利を2倍にする価格決定論』以上PHP研究所より、その他多数あり。

—生産管理と出会って40年—
株式会社 西田経営技術士事務所
代表取締役・技術士

西田順生



【講師】収益改善コンサルタント：西田雄平(にしだ ゆうへい)

“製造業のため”の収益改善コンサルティング会社(株)西田経営技術士事務所 取締役・主任コンサルタント。

2009年法政大学経営学科を卒業後、ミネベアミツミ(株)に入社し購買管理の実務を経験。若干24歳で同社最大の生産拠点であるタイ工場に赴任。現地マネジメントに加え、アジア諸国の経営者とタフな商談や価格交渉を行う。海外駐在4年間でのコストダウン実績は優に2億円を超え、利益創出に大きく貢献。現在、収益改善コンサルタントとして全国の企業へ値決め経営実践ツールである“IPP”(収益改善プログラム)導入活動中。官公庁、企業でのセミナー実績も豊富。



“製造業のための”収益改善コンサルティング会社
株式会社 西田経営技術士事務所

「今年は全社一丸となって10%コストダウンしよう！」。年頭によく耳にする挨拶です。

「笛吹けどもおどらず」—多くの会社では、6か月経っても1年経っても一向に「**月次決算**」がよくなって来ない。なぜか？

「**原価計算書**」を片手に、実行していないからです。失敗企業は、すぐ「現場改善」に走ります。

その結果は—
「現場はスッキリしたなあ」
「物も見やすくなったし、取り出しやすくなったよね」
⇒でも利益は……増えてこない。

私はこのような失敗企業を、何百社と診てきました。コストダウンが一向に進まない企業は、まず以下の方程式を穴が開くほど見てください。実に当たり前のことに気付くはずです。

＜コストダウンの方程式＞

① 材料費 \searrow = 仕入れ単価 \searrow × (員数 \searrow + ロス \searrow)

② 加工費 \searrow = 直接労務費 \searrow + 設備費 \searrow
= {(マンST \searrow + ロス \searrow) × マンレート \searrow + (マシンST \searrow + ロス \searrow) × マシンレート \searrow }

③ 間接費 \searrow = 加工費 \searrow × 間接費レート \searrow

※STとは、標準時間のことを言う。

多くの失敗企業は、「材料費を削減しろ」「加工費をもっと下げろ」に終始しています。

これではダメ！

原価を劇的に切り下げるには、方程式にあるように**各項目を矢印のように引き下げねばならないのです**。

しかも、**上手にメンバーに割り振って**。(たとえば、材料費の仕入れ単価を切り下げるのは購買部門が、員数を削減するのは設計部門が、ロスを減らすのは製造部門が分担します)

もちろん、「**科学的手法**」を駆使して。

「こんな単純なことで、年間200万円も下がったの！」
「えっ、これって他の部署にも展開できるよね。そうすると年間数千万は下がるね」実際に私の指導を受けた企業様からは、驚きの声が上がってきます。

コストダウンは闇雲に行っても、絶対に進みません。下手な鉄砲はどれだけ打っても的に当たらないのです。「原価計算書」を片手に、コストダウンの方程式を解いていけば、あっという間に年間数千万円程度のコストは下げられます。私にはその自信があります。今まで、個別企業でしかお教えしてこなかった手法について、そのノウハウを伝授致します。

セミナーから学べる事

★第1日目

第1部:入門編
…原価計算の基本やコストダウンの基本的な進め方について、お教えします。

第2部:材料費の削減
…営業利益に直結する材料費の削減方法について、単なる仕入れ単価の削減だけではなく、VE手法や標準化、海外調達によるコストダウン手法をお教えいたします。

★第2日目

第3部:直接労務費の削減
…加工費の内の直接労務費の削減方法について、省人化やムダとりだけではなく、生産方式をバツサリと切るコストダウン手法をお教えいたします。

★第3日目

第4部:設備費の削減
…加工費の内の設備費の削減方法について、単に稼働率を上げる方法ではなく、設備を止めることなく、しかも速く動かす方法をお教えいたします。

★第4日目

第5部:間接費の削減
…まず、間接費の原価算入方法をお教えします。次に、まだだれも教えていない間接費の削減方法について、他社の成功事例を紹介しながらお教えいたします。

本校の特徴

1. 3ヶ月間で4回の集中講義。
2. 合計20個以上の実習を通して、体で学ぶことができる。
3. 明日から実践できるよう多数のフォーマット付き。
4. 他社の事例を多く取り入れた具体的セミナー。

このような企業様へ

- (1) 掛け声ばかりで、コストダウンが一向に進まない企業様
- (2) 「材料費はこれ以上下がらないのだ」と思い込んでいる企業様
- (3) 売上が下がっているのに一向に残業が減らない企業様
- (4) 現場からいつもいつも人が足りないと言ってくる企業様
- (5) たまに現場へ行くと、ぶらぶらしている作業員が目立つ企業様
- (6) 止まっている機械がやたらと目につく企業様
- (7) 以前と比べて「生産性が落ちたな」と感ずる企業様
- (8) お客様が要求するコストについて行けない企業様



セミナーカリキュラム

プログラム【第1日目】 第1部:入門編

■セクション1 まずは、原価について知る

1. 利益の方程式が大切
2. 原価とは？ 売価とは？
3. 2つの原価
4. 原価計算の基本の基本
5. 材料費の正しい計算方法 【実習】
6. 加工費の正しい計算方法 【実習】

■セクション2 コストダウンを成功させるワザ

1. 利益一覧表から“病人”を探し出せ！ 【実習】
2. 原価計算書から“病巣”を見つけ出せ！ 【実習】
3. タテのコストダウンとヨコのコストダウン
4. タテのコストダウンがうまく行く！
5. 改善基本精神10ヶ条

第2部:材料費を削減する

■セクション1 材料費の正しい計算方法を復習する

■セクション2 材料費削減の3原則を知る

- 原則1:仕入れ単価を安くする
- 原則2:材料ロスを小さくする
- 原則3:員数を少なくする

プログラム【第2日目】 第3部:直接労務費を削減する

■セクション1 直接労務費の正しい計算方法を復習する

■セクション2 直接労務費削減の3原則を知る

- 原則1:賃率(マンレート)を切り下げる
- 原則2:作業時間を短くする
- 原則3:各種ロスを小さくする

■セクション3 直接労務費を切り下げる具体策

- 原則1:賃率(マンレート)を切り下げる
- 原則2:作業時間を短くする
 1. 能率の悪い作業者をあぶり出せ！ 【実習】
 2. 作業速度を速める方法 【実習】
 3. 「セル生産」「流れ生産」で省人化！ 【実習】
- 原則3:各種ロスを削減する4パターン！ 【実習】
 - ★ケース1 手作業を一人で行っている場合
 - ★ケース2 手作業を複数人で行っている場合
 - ★ケース3 機械が主体で、作業員1名で1台もしくは多台を見る場合
 - ★ケース4 機械が主体で、作業員複数で1台の機械を見る場合

■セクション3 原則1:仕入れ単価を安くする具体策

1. 中長期で取り組むべき具体策
 - (1) 「標準化」で3年後に儲ける！
 - ①標準化とは？
 - ②上手に標準化を進めるコツ
 - (2) 「材料変更」が強烈に効く！
 - ①材料変更とは？
 - ②上手に材料変更を進めるコツ
2. 短期で取り組むべき具体策
 - (1) 勝てる価格交渉は準備で決まる！ 【実習】
 - (2) 海外調達を成功させるコツ
 - (3) 経験者が語る海外出張・海外赴任の心得

■セクション4 原則2:材料ロスを小さくする具体策

1. 材料ロスの種類を知る
2. 材料ロス削減の9手順
3. 「切替ロス」を小さくする具体策
4. 「歩留りロス」を小さくする具体策
5. 「不良ロス」を小さくする具体策

■セクション5 原則3:員数を小さくする具体策

1. 簡単！VEのワザを使い！
2. ECRSを実践せよ！
3. 軽薄短小を考えよ！
4. VE手法によるコストダウン体験 【実習】

プログラム【第3日目】 第4部:設備費を削減する

■セクション1 設備費の正しい計算方法を復習する

■セクション2 設備費削減の3原則を知る

- 原則1:賃率(マシンレート)を切り下げる
- 原則2:3つの停止ロスをなくす
- 原則3:2つの速度ロスを減らす

■セクション3 設備費を切り下げる具体策

- 原則1:賃率(マシンレート)を切り下げる
 1. まずは、“稼働率の本当”を知れ！ 【実習】
 2. 稼働率を上げると、なぜ原価が下がるのか？
 3. 軽視するな！“運転費を引き下げるコツ”
- 原則2:3つの停止ロスをなくす
 - 停止ロスその1:段取り停止ロスの削減
 1. 現状分析をしっかりと行え！ 【実習】
 2. 対象を絞り込め！
 3. 最強ツール:作業員工程分析を使いこなせ！ 【実習】
 4. 効果の確認はビフォー・アフターで 【実習】
 5. 全社展開で段取り費を激減させよ！
 - 停止ロスその2:故障停止ロスの削減
 1. 故障ロス率を見える化せよ！ 【実習】
 2. 故障ロスの詳細をつかめ！
 3. 故障ロス削減5ツールを使いこなせ！
 - 停止ロスその3:材料・部品交換停止ロスの削減
- 原則3:2つの速度ロスを減らす 【実習】

プログラム【第4日目】 第5部:間接費を削減する

■セクション1 間接費とはどんな費用か？

■セクション2 間接費を製品一点一点に原価算入する方法

1. 間接費レートの基本を学ぶ
2. 間接費レートの計算方法を体験する 【実習】
3. 間接費の計算方法を体験する 【実習】

■セクション3 間接労務費削減の5原則

- 原則1:間接費レートを切り下げる
- 原則2:その仕事をやめる
- 原則3:その仕事を標準化する
- 原則4:その仕事を本来の姿に変革する
- 原則5:その仕事をコンピュータ化する

■セクション4 間接労務費を切り下げる具体策

- 原則1:間接マンレートを切り下げる方法 【実習】
- 原則2:その仕事をやめる方法 【実習】
- 原則3:その仕事を標準化する方法
業務標準化の手順
- 原則4:その仕事を本来の姿に変革する方法 【実習】
- 原則5:その仕事をコンピュータ化する

■セクション5 間接諸経費削減の4原則を知る

- 原則1:物流費にメスを当てる
- 原則2:消耗品費を削る
- 原則3:修理保全費を減らす
- 原則4:エネルギー費を削る

理解を深めて頂くための“2つの仕掛け”

1. 一方通行にならないよう設問形式を多用し、受講者の皆さんに考えて書いて頂く時間を設けてあります。
2. 会社へ帰って、すぐに実践できるように、4日間で20個以上の実習を取り入れてあります。



- ・ 個別企業様での指導は、過去20年で数10回以上実施しております。
- ・ 2016年 第1回



個別企業様の受講者の声

- 理論に基づいた科学的コストダウン手法が目から鱗の体験でした。しかもすぐに実践できる内容ばかりでした。
(静岡県 購買課長 松田和彦)
- セミナーに実習が組み込まれていたため、とても分かり易い内容で大変満足しています。
(東京都 製造課長 緒方充博)
- いつも中途半端に終わっていたコストダウン活動の原因が、知識不足によるのだと気づきました。理論と数字を武器に再出発しようと思います。
(群馬県 生産管理部長 小野正志)

◆実施日時

1日目：2018年4月24日(火) 10:00～16:30
 2日目：2018年5月17日(木) 10:00～16:30
 3日目：2018年6月 6日(水) 10:00～16:30
 4日目：2018年6月26日(火) 10:00～16:30

◆場所

日本印刷会館
 〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8

◆参加費用

全4回の総合計：86,400円／1人(税込み価格)
 4回コースを分割して受講することはできません。
 ただし、参加者の途中変更は可能です。

◆セミナーのお申込み・代金のお支払い方法

- ① 下記の「申込み書」をFAXしてください。
- ② FAX受領後、当社より「セミナー受付完了」のFAXを致します。3日以内に当社からのFAXが届かない場合、お手数ですがご連絡ください。
- ③ 受付完了後、当社より「受講票」及び「請求書」を郵送させていただきます。
- ④ 「請求書」に記載の参加料金を指定口座にお振込みください。
- ⑤ 当日セミナー会場へお越しください。

◆主催・お問い合わせ先

株式会社 西田経営技術士事務所
 〒104-0041 東京都中央区新富1-6-8
 第3東邦ビル7階
 TEL 03-6411-1264
 FAX 03-6411-1265
<http://www.ni-g-j.co.jp>
 e-mail:daihyou@ni-g-j.co.jp
 お問い合わせ担当者 業務：西田 麻美

セミナーNo.180424「コストダウンリーダー養成学校」セミナー申込書

FAX 03-6411-1265 (24時間受付中!)

ふりがな			
会社名			
所在地	□□□□□□		
TEL番号			FAX番号
連絡担当者	部署		氏名 (ふりがな)
参加者	役職名	ふりがな 氏名	役職名 氏名
	役職名	ふりがな 氏名	役職名 氏名

※入手した個人情報につきましては、本セミナーの連絡および弊社活動のご案内のみに使用させていただきます。

※当社代表取締役 西田順生は、わが国の「技術士法」によって、「守秘義務」「信用失墜行為の禁止」が課せられていますので、ご安心ください。